

平成 29 年度 校長だより

不撓不屈

【糸満市立糸満中学校 教育目標】
 【知】主体的に学び
 【徳】心豊かで勤労を大切にする
 【体】心身ともに健康な生徒

【 強い意志をもって、どんな苦勞や困難にもくじけないこと 】

発行者 校長 與那覇正樹

【頑張る君へ】 2018 !! あけましておめでとうございます!!

三学期が始まります。三年生は高校入試、一・二年生は新人大会、そして 3 月には卒業・進級と重要な学期になります。全校生徒一人ひとりが、いろいろな夢・目標や不安などをかかえての新年度のスタートになります。そこで、これまでの行事などでの感想や意見を掲載します。是非、参考にしてください。最も大切なことは、

「自分の夢に向かって どれだけ挑戦したのか? 努力したかどうか?」 ではないでしょうか?

夢がないのなら、目の前にあることを一生懸命頑張れば良い!! 【いっこく堂講演会】 ~夢を叶える keyword~

11 月 14 日にいっこく堂講演会が本校体育館にて開催されました。「夢を叶える keyword」をテーマに腹話術、歌を交えながら、いっこく堂さんのこれまでの苦勞や生き方・考え方、夢を持つことの大切さなど、あっという間に時間が過ぎた講演会でした。そのときの感想を掲載します。

【上原 彩夏 さん 感想から】

「夢がないのなら、目の前にあることを一生懸命頑張れば良い」いっこく堂さんの講話でできたこの言葉が私の心にとても響きました。私たちは中学 3 年生で高校受検を控えています。また、将来に向けて、いろいろな進路を選択していくと思います。しかし、今の私には、まだはっきりとした将来の夢はなくて、多くの夢があります。その中で、どれを選択し、頑張れるか不安でした。でも、はっきりとした自分の夢がないのなら、目の前にあることを一生懸命頑張れば良いと聞き、とてもスッキリしました。しっかりと高校へ進学し、自分に合った夢を見つけ、もし間違ったとしても目の前にあることを一生懸命に頑張っていきたいと思います。腹話術の技術もすばらしいくらい身に付けていると思いました。本当に尊敬したいです。今からできることは続けていっこく堂さんのように継続できる人間になりたいです。「生きているだけで、それだけで」歌詞の内容がとても伝わってきて良い曲でした。

【 生きているだけで それだけで 】

(笑顔になれるから) 詞 : いっこく

生きて行くと 難しい 誰もがみんな思うこと
 生きている人って頼もしい ただそれだけで 頼もしい

ああ 道に迷って 泣き出しそうだよ
 でも それじゃいけないよ 勿体ないよ

この大空は 僕たちのもの 見捨てちゃいけないよ
 大きな声で 響かせようよ チャンスはまた来る

生きていくって つまらない 一度は皆思うこと
 だけどそれって つまらない 生まれてきた夢がない

人は 人に裏切られ 悲しくなるよね
 ひとは ひとに思われて 強くなれるよね

信じる勇気 捨てちゃいけない 気持ちは分かるけど
 もう一度だけ 震わせようよ 愛するちからを



※ 左記の歌詞は講演会終了後にいっこく堂さんから、糸中の生徒の皆さんへと、いただいた文書(歌詞)をもとに掲載しています。

11 月 15 日 (水) の第 27 回島尻地区中学校意見発表会にて最優秀賞を受賞し、沖縄県中学校意見発表会にて優良賞を受賞した本校代表の美底梨来さんの意見文を紹介します。

【島尻地区中学校意見発表会 最優秀賞 県中学校意見発表会 優良賞】

立場が変わる！

三年 美底梨来

今の自分を変えたい、変わりたい、と思ったことはありませんか。その変えたい自分というのは、勉強が苦手、人間がうまくいかないなど、人それぞれだと思います。それと同じように、私にも変えたい自分があります。それは臆病な自分です。私は周りの人に注意をしたり、人をまとめたりするのが苦手で、たとえ注意したとしても、心の中ではいつも、「今の言い方きつくなかったかな。」「他にも注意の仕方があったかもしれない。」と、一人で反省会をすることもありました。以前、国語の授業でグループリーダーだった私は、率先して行動しようとしていましたが、グループの人は誰も意見を言ってくれず、結局、私が自分でまとめる結果になったのです。その時の私は、何も言ってくれないメンバーに対して、怒りが込み上げてきていました。「私はしっかり仕事をした。私は悪くない。」注意するのが怖くて、そう言い聞かせていました。また、去年は、「二学期の学級役員になりたいです。」と言ったときに、担任の先生が、「人をまとめるには、普段の生活から声を出していくことが、大切なんだよ。」とおっしゃっていました。私には、その言葉の意味がよく分かりませんでした。そんな中、合唱コンクールが近づいてきました。私のクラスは、声量が小さく、音程もバラバラ。全員で合わせて練習するときはいくら待っても並び終わらず、注意をしても改善されません。「やっぱり私には人をまとめる立場は向いていないのかな。」そう思うようになっていました。そんな時、私の父は、仕事を変えました。「会社員」から「ファイナンシャルプランナー」への転職です。最初聞いたときは驚き、家族で何度も転職の話し合いをしました。父は、その話し合いの中で、「職業を変えることが、自分の今を変えるチャンスなんだ。ここで決断することで、自分のためにも家族のためにもなる。」と言ったのです。父はなぜ、こんな大きな決断ができるのでしょうか。普通「変える」ということはとても難しいことです。父の行動は、臆病で人の目を気にしたり、人のせいにする私には信じられないことでした。しかし父は、「生きていく中で人生を左右するチャンスは必ず何回かある。それは、自分で自ら変わる時、もしくは、立場や環境が自分を変えてくれる時、その二種類だと思うんだ。」と言ってくれました。自らを「変える」のは難しいですが、立場や環境が「変えてくれる」ということです。担任の先生がおっしゃった「普段から声をかける」もその一つです。学級役員やリーダーという立場だからこそ、声かけや注意ができる。臆病な私ですが、立場があるからこそ、「変えられる」チャンスがあったのです。それからは、朝の挨拶や、授業中の発表などを意識することで、みんなへの指示やアドバイスができるようになりました。父の行動・言葉をきっかけに「変わる」ことができたのです。

多くの人は、周りの人と同じ目線に立ち、当たり前のように毎日を過ごしています。しかし、そこから少し角度を変えてみるだけで、新しい発見に出会えるのです。その角度を変えるきっかけは、自分の立場の変化が与えてくれます。自分の見ている世界が変われば自分も変わり、成長できます。立場を変えるには少しの勇気が必要です。その少しの勇気があれば、自分にとってとても大きな自信と力を得ることができるのです。

皆さんも少しの勇気で自分を変えてみませんか。立場が自分を変えてくれる。そう信じて。

《 二学期終業式 》 【2 年生代表あいさつ 城間ななみ さん】



・・・行事では、九月に地区陸上がありました。選手は夏休みから練習に励み、本番では全力を出しきり、昨年を上回る結果となりました。十月には、職場体験があり、三十八の事業所でそれぞれ分かれて体験しました。この職場体験を通して社会に出た時のあいさつや言葉づかい等のマナーや責任感の大切さを学ぶことができました。十一月の合唱コンクールでは、どの学級も金賞をとるために、放課後の練習を必死に頑張っていました。これらの行事を通して、互いの良さを知ることができ、学級の絆も深まりました。学習面での良いところは進んで発表するところで、課題は提出物を期限内に出す人が少ないところです。生活面では、一学期に比べて八時までに登校する人が増えてきました。三学期は、まとめの学期なので、二年生の明るさや積極性を生かしながら、けじめをつけて学習面や生活面を充実させていきたいです。また、目的意識をしっかりと持ち、一人一人が自分の目標を達成できるようにがんばりたいです。

【生徒会代表あいさつ 慶留間皓貴 さん】

・・・三年生を中心とした旧生徒会を引き継ぎ、私達二十五名の新生徒会としての活動もスタートしました。二学期は、伊敷万夢会長がリーダーシップを発揮して・・・学校全体としても朝のあいさつ運動や清掃活動に部活動や委員会が協力して行っていくことができました。この糸満中を良くする活動は、今後も続けていってほしいと思います。私達、生徒会のメンバーも学級や学年において中心的な役割が果たせるよう、今後も積極的に働きかけていきたいです。これまでの先輩達の思いや実績を引き継ぎ、二学期のがんばりを上手く三学期へつなげていきたいです。

